

R3) 観光の島屋久島の問題点 島びとが眠っていたら島は沈む

エコツアーをはじめとする観光のかかえる問題点

島は誰のものか？ここに骨を埋める気もない者に地の者としての権利を認めるべきなのか

作成日：2004.8.21
場所：屋久島一湊
情報源：屋久島FW講座人と自然班
作成者：屋久島FW講座人と自然班

自然の中に入っていくことで、自らも破壊に加担している観光客が責任を自覚していない

エコツアーの名前が先走り、「普通の観光とは違うのよ！」と思うだけで罪悪感が減る？

世界遺産になった頃からサービス業で生活していく島になっていった

節度のない山の利用（入りすぎ。あまり人が入らなかった場所にまで入り込む）

自然を利用した観光で自然が壊され、文化までも壊されつつある

客の問題

受け入れ側の問題

いつまで寝てるの？島の人よ目覚めよ！

外部の力に翻弄される島びとの本音が見えない

外からの荒波になすがままになっている

県や国の方式が押しつけられることで、地元の夢が実現しない

大手の観光業者、企業、大型スーパーが入って地元の商店が衰退

観光客が増えて大規模店が成立する基盤ができてしまい消費の島に

島の人たちは何を考えているのか

島人は自分たちの自然と文化が危機に瀕していることに気づいているのか

島人に意思表示の場に参加してもらうことが難しい

島びとのさまざまなニーズに対応できていない

高齢者やハンディのある人のことがあまり考えられていない（自然公園）

若者は職があれば帰ってくるだろう。しかし島での就職は厳しい状況